

大項目	中項目	第3期指標項目(案)	指標の算出方法	第2期目標値及び実績値(R1~R5)					第2期目標値		第3期目標値		指標設定の考え方等	ご意見等(R6.12.26)	大学回答	ご意見等(R7.1.15)	大学回答																		
				R1	R2	R3	R4	R5	R6(最終)	達成時期	R12(最終)	達成時期																							
1 教育	No.1) 学生の確保	1	学部志願倍率	志願者数/募集定員数(一般)	目標値	4.3倍						4.3倍	毎年度	3.8倍	毎年度	過去の志願倍率と人口減少率9%を動率 第2期平均(R3除く) 3.8倍×91%×1.1倍(向上率) 新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言等が発せられ、移動制限を含む措置が実施されたR3年度実績を除外。	【意見】 ■R5: 4.3倍を考慮すると低すぎる。 ■コロナ感染症による異常値は、県外生が戻ってきたR3: 8.3だけではなく、県外生が離れたR2: 3.1も考慮すべき ↓ 4.0~4.1となる ■18歳人口を前提にした人口減少率9%調整を外すべきでは？ 人口減を前提にすれば志願倍率は下がるが、それは質の低下に直結する。 むしろ対象を広げる方が求められるのでは？	新型コロナ感染症の影響が大きいと考えられるR2、R3を除いたR1、R4、R5の実績をもとに、目標値を4.0に設定します。 対象を広げる方策については、今後の課題とさせていただきます。 R1、R4、R5の実績4.03倍×91%×1.1倍(向上率) → 4.03 ≈ 4.0																	
		5	学生の授業内容等満足度	5段階評価の大学平均	目標値	4.2点						4.2点	毎年度	4.5点	毎年度	他大学よりも高いと考えられるが、第2期平均に目標値を引上げ <table border="1"> <thead> <tr> <th>大学名</th> <th>指標の算出方法</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石川県立看護大学</td> <td>学生満足度 授業内容等の学生アンケートで、5段階評価の上位2位の回答割合</td> <td>85%</td> </tr> <tr> <td>岐阜県立看護大学</td> <td>教養科目の満足度(「非常に満足している」または「どちらかという」と満足している」と回答した者の割合)</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>宮崎県立看護大学</td> <td>学生の授業内容満足度 授業評価アンケート、5段階評価のうち上位2項目の割合</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>沖縄県立看護大学</td> <td>カリキュラム、学修環境の満足度</td> <td>80%</td> </tr> </tbody> </table> * * 再掲箇所参照	大学名	指標の算出方法	目標値	石川県立看護大学	学生満足度 授業内容等の学生アンケートで、5段階評価の上位2位の回答割合	85%	岐阜県立看護大学	教養科目の満足度(「非常に満足している」または「どちらかという」と満足している」と回答した者の割合)	80%	宮崎県立看護大学	学生の授業内容満足度 授業評価アンケート、5段階評価のうち上位2項目の割合	80%	沖縄県立看護大学	カリキュラム、学修環境の満足度	80%	【意見】 従来より、授業内容のアンケートが法人の「教育の実施体制」評価となりうるのか疑問に感じている。 教育の「実施体制」を評価する項目なので、沖縄県立看護大学の「カリキュラム、学修環境の満足度」を参考に対象を見直しては？ * * 再掲箇所参照	学生の授業評価等満足度は、すべての科目について、各科目ごとに行った授業評価アンケートの各項目の回答値を平均して算出しています。授業評価アンケートの項目は下記の通りであり、カリキュラムや授業環境の要素が含まれていますので、原案のとおりとさせていただきます。 ・シラバスには、学習目標、授業に関する内容、成績評価基準が具体的に示されていた ・科目の構成(内容・時間配分・順序)は適切であった ・授業で用いられた教材は適切であった ・授業の内容や構成は、学生が理解しやすいように工夫されていた ・学生からの質問・発言などに適切に対応していた ・教員は授業を受けやすい環境づくりに配慮していた		
		大学名	指標の算出方法	目標値																															
石川県立看護大学	学生満足度 授業内容等の学生アンケートで、5段階評価の上位2位の回答割合	85%																																	
岐阜県立看護大学	教養科目の満足度(「非常に満足している」または「どちらかという」と満足している」と回答した者の割合)	80%																																	
宮崎県立看護大学	学生の授業内容満足度 授業評価アンケート、5段階評価のうち上位2項目の割合	80%																																	
沖縄県立看護大学	カリキュラム、学修環境の満足度	80%																																	
No.3) 教育の実施体制	7	【新規】テキスト・資料のデジタル化率(デジタル化できるテキスト・資料)	デジタル化の数/必修科目のテキスト・資料の数(最終年度)	目標値	—	—	—	—	—	—	—	—	100%	R12	テキスト・資料のデジタル化率 R7: — R8: — R9: — R10: — R11: — R12: 100%	【質問】 PDF化することか？ 想定している状況を具体的に説明ください。また、目的と予想される効果について説明ください	電子化されているテキストを活用するとともに、資料をPDF化することを考えています。 【目的】学習資料の電子化が進む中、本学では、現在、テキスト・資料は紙ベースのものを主として使用しています。今後、電子資料にしたい学生が効果的に学習できるよう環境整備を行うことを目的としています。 【予想される効果】電子資料は、効率的に資料検索ができることや、持ち運びが容易になること、自由に加工できること等のメリットがあり、効果的な学習につながるかと考えています。																		
2 研究	No.5) 研究水準及び成果等	11	論文件数	論文件数/年	目標値	72件					72件	R6	62件	毎年度	第2期平均の10%増 56件×1.1=61.6件≈62件 【参考】 OR6.11月人員構成における大学期待値 33件 教授 12人× 1件……………12件 准教授 11人× 1件……………11件 講師 7人× 0.5件(2年に1件) → 3.5件 助教・助手 20人×0.33件(3年に1件) → 6.6件 O大学期待値から設定する目標 50件 33件×1.5倍≈50件	【意見】 ■コロナ感染症の影響が大きかった項目であるのに、調整なく第2期平均を用い、過少な値を算出している ■R5実績がそれぞれ85件、69件であり、すでに第3期目標を上回っている。 計画値は過少であると思う (計画値としては達成可能な目標値を設定すべき。)	新型コロナの影響により研究活動が制限された結果、R2~R4は論文件数が少なく、R5はR2~R4の反動で数値が大きくなったと推察し、両方の影響を含む第2期平均をベースに目標値を設定しました。(第2期目標値を設定した際の考え方向様に、今回も第2期目標期間の実績値の平均値の10%増としました。) なお、第2期目標値も直前年度の実績値を下回っています。(参考) H29と第2期目標値の比較 論文件数: 82⇒72 査読付き論文件数69⇒65																		
			査読付き論文件数/年	目標値	65件						65件	R6	53件	毎年度	第2期平均の10%増 48件×1.1=52.8件≈53件	■人員積み上げで算定した期待値が低いが、第2期と比して教員の質が低下した事実があるのか？																			
		13	論文等の被引用件数	論文等の被引用件数/年	目標値	33件						33件	毎年度	78件	毎年度	第2期平均に目標値引上げ	【意見】 ■R1、R2を除けば90件超だが、これを下回る78件を目標とするのか？ (R3:100件、R4:91件、R5:90件)	第1期、第2期ともに、実績値の変動が大きいため、過去平均の10%増を目標値として設定しています。なお、第2期においては、大学院博士後期課程設置のために任用した任期付教員1名の論文等からの引用件数が突出していました。(R1: 5件、R2: 9件、R3: 29件、R4: 41件、R5: 23件) 当該任期付教員は既に任期満了により退職しています。 当該任期付教員分を除いた第2期実績値は次のとおりです。 R1: 32件、R2: 61件、R3: 71件、R4: 50件、R5: 67件																	
No.6) 研究実施体制の整備等	参考	大学における研究発表会の開催件数	研究発表会の開催件数/年	目標値	4件					4件	毎年度	4件	毎年度	第2期実績を維持	【意見】 コロナ感染症の影響で異常値となったR2: 1件を、調整なしに実績値に含めている R3、R4、R5はいずれも5件であり、なぜ現行達成している5件より目標値を下げるのか理解できない。	次の学会は本学の意思が働きにくいものですが、こうした特殊なものを含めて目標値算出の基礎としていますので、目標値の4件は妥当ではないかと考えています。 ・R5の5件のうち1件は日本高齢者虐待防止学会 ・R4の5件のうち1件は周産期メンタルヘルス学会学術大会 ・R3の5件のうち1件は日本セーフティプロモーション学会																			

大項目	中項目	第3期指標項目(案)	指標の算出方法	第2期目標値及び実績値(R1~R5)						第2期目標値		第3期目標値		指標設定の考え方	ご意見等(R6.12.26)	大学回答	ご意見等(R7.1.15)	大学回答			
				R1	R2	R3	R4	R5	平均値(累計の割合は連年値)	R6(最終)	達成時期	R12(最終)	達成時期								
3 地域社会への対応	No.7	【新規】看護職学習支援	看護職リカレント教育登録者数/年	目標値	19人								19人	R6	22人	毎年度	【意見】web開催(複数日設定)も併用し、全時間の聴講者数を把握しては？	webでの参加者もカウント済みです。			
			実績値	45人	4人	18人	26人	19人	22人												
4 業務運営	No.10	【再掲】【新規】大学院収容定員充足率	博士前期課程 在籍者数/収容定員数	目標値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100%	毎年度	過去2期平均(R3除く)3.8倍×91%×1.1倍(向上率) 新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言等が発せられ、移動制限を含む措置が実施されたR3年度実績を除く。	No.10 運営体制の改善の指標として削除します。			
			実績値	133%	133%	110%	70%	50%	99%	—	—	100%	毎年度								
4 業務運営	No.10	【再掲】【新規】卒業時・修了時ディプロマポリシー到達率	博士前期課程 到達と評価する学生割合(5段階評価の上位2位の割合)	目標値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	80%	毎年度	「運営体制」を評価する項目なので、授業満足度だけではなく、沖縄県立看護大学の「カリキュラム、学修環境の満足度」を参考に対象を見直しては？ * * 再掲箇所参照	No.10 運営体制の改善の指標として削除します。			
			実績値	89%	111%	133%	122%	89%	109%	—	—	80%	毎年度								
4 業務運営	No.12	【新規】学内会議のペーパーレス化の割合	ペーパーレスの会議数/教授会・委員会数(最終年度)	目標値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100%	R12	【意見】評価指標から削除すべき (No.12)事務の効率化・合理化の評価指標としては限定的すぎる。 特出した事項がない限り高評価のつかない「業務運営」全体の評価をかさ上げしきれない。	削除します。			
			実績値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100%					R12
5 財務	No.13	自己収入の増加	自己収入比率 ※実績値の()は、新しい計算方法で算出した値	目標値	33.0%								33.0%	毎年度	33.0%	毎年度	自己収入比率は削除しない (経常収益から異常値を除くべき)	自己収入比率を指標として設定します。 算出時には経常収益から異常値を除外します。			
			実績値	33.4% (33.2%)	35.0% (36.1%)	36.6% (36.4%)	36.3% (35.2%)	29.7% (32.1%)	34.2% (34.6%)	—	—	—	—	—	—	—					—
5 財務	No.14	経費削減	外部研究資金比率 ※実績値の()は、新しい計算方法で算出した値	目標値	2.3%								2.3%	R6	2.3%	毎年度	経常収益から異常値を除くべき	算出時には経常収益から異常値を除外します。			
			実績値	2.5% (2.6%)	1.6% (1.8%)	1.8% (1.9%)	1.9% (2.0%)	2.5% (2.7%)	2.0% (2.2%)	—	—	—	—	—	—	—					—
6 情報公開	No.14	経費削減	【新規】経費削減方針の策定と周知の実施	目標値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	年1回以上	毎年度	要削除	削除します。			
			実績値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					—
6 情報公開	No.15	資産の運用管理の改善	【新規】施設・設備の点検と、これに基づく補修工事、施設整備計画への反映の実施	目標値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	年1回以上	毎年度	要削除	削除します。			
			実績値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					—
6 情報公開	No.17	情報公開の推進	【新規】法人情報等の公開	目標値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	年1回以上	毎年度	要削除	削除します。			
			実績値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					—
7 その他	No.18	法令遵守の推進	【新規】法令遵守・倫理に関する啓発の実施	目標値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	年2回以上	毎年度	経常収益から異常値を除くべき	削除します。			
			実績値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					—
7 その他	No.19	施設の効率的整備	【新規】施設整備計画に基づく改修工事の実施率	目標値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100%	R12	要削除	削除します。			
			実績値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					—
7 その他	No.20	危機管理	【新規】危機管理に関する訓練の実施	目標値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	年3回以上	毎年度	要削除	削除します。			
			実績値	4回	3回	4回	4回	3回	3.6回	—	—	—	—	—	—	—					—
7 その他	No.22	情報セキュリティ対策	【新規】情報漏洩等(重大事象)の発生件数	目標値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0件	毎年度	情報漏洩のない大学の実現	情報セキュリティの重要性について教職員への意識喚起を続けていく必要がありますので残したいと考えます。	【意見】発生件数0件で「◎達成」となる。これにより、中項目「情報セキュリティ対策」の評価が「b: 年度計画を概ね達成」から機械的に引き上げられることになりかねない。 また、情報セキュリティは教職員の意識によって担保されるものではない。情報漏洩が起らないよう整備し運用状況をチェックし、整備に反映させるのは経営層の責任であることを改めて認識していただきたい。	【意見】「情報セキュリティに関する規程等を整備するとともに、学内に周知する。情報セキュリティポリシーに基づく対策が適切に機能するよう継続して運用の改善を図る。また、研修等の定期的な実施により大学全体の意識啓発を進める。」 ※下線部を追加しました。	中期計画83は以下のとおり変更します。 「情報セキュリティに関する規程等を整備するとともに、学内に周知する。情報セキュリティポリシーに基づく対策が適切に機能するよう継続して運用の改善を図る。また、研修等の定期的な実施により大学全体の意識啓発を進める。」 指標42、指標43は削除します。
			実績値	1件	0件	0件	0件	0件	0.2件	—	—	—	—	—	—	—					
7 その他	No.22	情報セキュリティ対策	【新規】情報セキュリティに関する研修の受講率	目標値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100%	毎年度	情報セキュリティへの全学的取組の実現				
			実績値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					—